

6-13

「ここで生活ができて幸せ」に至るまで

美容セラピーによる心の変化

心への働きかけ

モチベーション

とくべつようごろうじんほーむ なかがわえん
特別養護老人ホーム 中川園

介護職員・那須野 陽子

上原 彩子

東京都葛飾区西水元4-5-1

TEL 03-3607-4060

E-mail nakagawaen@jinseisha.jp

FAX 03-3607-4654

URL <http://www.jinsha.or.jp>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会法人仁生社は、昭和7年に結核に苦しむ人たちのため、結核療養所江戸川病院を開設したのが始まりで、戦後1早く身寄りのない高齢者のために高砂養老院及び江戸川病院高砂分院を開設しました。中川園では、密接でかつ柔軟で臨機応変な介護をするための工夫としてグループケアを取り入れ実践しています。

〈取り組んだ課題〉

利用者の抱える心の問題

- ・ 体の衰えによる自分自身への悲しみ、苛立ち
- ・ 集団生活によるストレス
- ・ 認知症による混乱、不安

生活に対する意欲低下

意欲を引き出すために重要なこと

- ・ 目的を持つ
- ・ 楽しみを見つける
- ・ 喜びと期待を感じる

そこに向かう動機付けの部分をしっかりサポート
する（心に響く働きかけ）

今回着目したもの>美へのアプローチ

美へのアプローチ着眼点

- ・ 女性同士共感しあえる
- ・ 女性性（もって備わった本能）
- ・ 本能×喜び=心の影響が強い、心の変化を生みやすい

女性特有の感性を刺激することが、ご利用者の心に響き、前向きに生活を送って頂くための変化に繋がるのではと考えた。

〈具体的な取り組み〉

実施内容

- ・ 整髪等のにだしなみ
- ・ お化粧、肌のお手入れ
- ・ ネイルアート、ハンドケア
- ・ アクセサリー等の小物使い

〈活動の成果と評価〉

- ・ 自身が抱える障害対し、前向きになる。
- ・ 外出回数の増加（不定期から月に数回）
- ・ ご本人の意向が加わることによる目的の具体化
- ・ お小遣いの使い方の変化
- ・ 笑顔、コミュニケーション増加
- ・ 拒否の減少、信頼関係の再構築
- ・ 暴言、大声の減少
- ・ 本来持っていた穏やかで女性らしい姿
- ・ 生活に対し期待を持つ

この美へアプローチによって、どの方にも共通して言えることは、笑顔が増し、心に何らかの変化をもたらすことができたことである。それは、お洒落というものがそれぞれの内面を刺激することによって心を高揚させ、その喜びが「次はこうしたい、こうなりたい」といった思いに自然と結びついた結果だと思われる。この結果を受けて、何を提供するにも重要なのは、常に行おうとしているものに対し、「私たちがご利用者様の心へどのような働きかけをしていくべきなのか？」という視点を持ち続けていくこと改めて気付かされた。そこに着目できたことが「ここで生活できて幸せ」という発現に至ったのだと思われる。

〈今後の課題〉

今回は、「美へのアプローチ」を用い、ご利用者の心へ働きかけたことによって、このような結果が得られたが、ご利用者一人一人が心から喜びを感じ、目的、楽しみのある生活を送って頂くために、他にどういった働きかけをしていけるか、重要な課題として今後も検討していきたい。